

掛布団やぐら

開発経緯

平成26年度、愛知県が実施している「福祉用具開発促進事業」における研究会事業において、「高齢者の身体機能の低下」について議論をした際、「身体機能の低下は、歩行動作や起立動作に支障を来してから認識されているが、早期の症状としてベッド上動作である寝返り動作に現れているのではないか。」との意見がありました。

高齢者が冬期に体力低下および機能低下をして来た要因として、就寝時に身動きが取れない程の防寒対策により、寝返りが打てなかったことが考えられます。

そこで、高齢者の自立した生活が続けられるように、冬期機能低下を招かないために、寝返り動作を阻害せず、防寒ができる装置を開発しています。

健康維持効果が見込める今までにない快適な就寝環境が提供できるよう、研究開発を進めています。なお、この装置開発は、日本ホームヘルパー協会愛知県支部の方々と共に行っております。

新しい就寝環境

メイン機能

寝返りを阻害しないように、掛布団が足に当たらない

電気敷毛布で、体を温める

補足機能

布団を引っ張ってもズレないため、ベッド柵がいらない

ベッド柵が不要なため
ベッドの出入りしやすい



・コンセプトモデルとして、既製品の介護用ベッドを使用しておりますが、本事業と介護用ベッドのメーカー様とは関係ございません。また、本装置は既製品ベッドの専用装置ではありません。

お問い合わせ

有限会社名南機械製作所

〒457-0063 愛知県名古屋市南区阿原町39番地
TEL : 052-823-2810 FAX : 052-824-4107
担当 : 大工 (だいこう)